

4. 市民ワークショップの実施結果

南九州市「市庁舎整備に関する市民ワークショップ」を、市民を対象に令和3年10月に、3回にわたって実施しました。

■ワークショップ実施の流れ

新庁舎建設にむけて 南九州市のこれからを語り合おう！ ワークショップ

新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるか、どんな庁舎ができるかについて、市民の皆さんと語り合うために、全3回のワークショップを開催する。

【第1回】

テーマ：新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくりについて語り合おう

開催日・会場：令和3年10月3日(日)14時～16時 知覧文化会館 2階大会議室

市全体の まちづくり

- ①南九州市がもっと「暮らしやすいまち」になるために、新庁舎建設をきっかけに、行政がどのようなことに力を入れると良いか、行政サービスがどう変わると良いかを出し合います
- ②どんな庁舎ができたならよいかについて話し合います

【第2回】

テーマ：穎娃、知覧、川辺のことを語り合おう

開催日・会場：令和3年10月16日(土)14時～16時 穎娃文化会館 2階研修室

令和3年10月17日(日)10時～12時 知覧文化会館 2階大会議室

令和3年10月17日(日)14時～16時 川辺文化会館 1階研修室

各地域の まちづくり

- ①穎娃・知覧・川辺地域が「どんなまち」かを出し合います
- ②まちを良くするための現庁舎・支所の空間・敷地の使い方のアイデアを出し合います

【第3回】

テーマ：新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう

開催日・会場：令和3年10月31日(日)14時～16時

JA 南さつまふれあいセンター 2階大会議室(JA 南さつま知覧本所隣接)

新庁舎周辺の まちづくり

- ①新庁舎に必要な「モノ」や「コト」を出し合い、必要な理由を話し合います
- ②出し合った意見をもとに、キャッチフレーズを話し合います

■第1回 ワークショップのまとめ



みな、みりよく！
南九州市

新庁舎建設に向けて

南九州市の これからの語り合おう！ ワークショップニュース

新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるとよいか、どんな庁舎ができるとういかに
ついて市民のみなさんと語り合うために、全3回のワークショップを開催しています。
本ニュースでは、10月3日(日)に行われた、第1回のワークショップのようすをお伝えします。

◆第1回ワークショップ開催概要◆

開催日：10月3日(日)
開催時間：14:00～16:00
開催場所：知覧文化会館
2階大会議室

◆当日のプログラム◆

1. 開会、あいさつ
2. ワークショップについて
3. グループ分け
4. ワークショップ ①
「もっと暮らしやすいまちになるには」
5. ワークショップ ②
「どんな庁舎になったらよいか」
「どんな新庁舎ができたならよいか」
6. グループ発表・まとめ
7. 閉会

新庁舎建設に向けたワークショップが始まりました。

南九州市では、新庁舎建設に向けた検討をすすめています。市庁舎は、建設後半世紀以上が経過し、施設的にも機能的にも老朽化しています。

市では、市民のみなさまの様々なご意見を聞きながら、市の将来に向けた計画を作っていきたいと考え、一緒に語り合うためのワークショップを開催することになりました。

ワークショップとは？

ワークショップとは、参加者同士で様々な意見を出し合いながら、あるテーマについて語り合う場、手法のことです。

具体的には、少人数のグループに分かれて話し合いを行い、意見をまとめていきます。ワークショップでは、誰もが思ったことを言える雰囲気づくりが大切です。

どんな人が参加しているの？

ワークショップには参加を希望した市民や市内の高校生など年齢・性別を問わず参加しています。





■南九州市の「ここが暮らしやすい!」「こうなればもっと暮らしやすい!」を発表しました。

自然・風景・環境

- ・自然がいっぱい、自然がゆたか
- ・素晴らしい風景
- ・景色がきれいで癒される
- ・のどか
- ・静かなところ、静かて過ごしやすい
- ・ちょうど良いくらいの田舎感
- ・何も無いことが良いところ

ひと

- ・人柄がよい
- ↓
- ・子どもが輝けるまち
 - ・人口増加

利便性

- ・市役所、郵便局、銀行が近くて便利
- ↓
- ・コミュニケーション施設があるとよい
 - ・交通が不便(交通が便利になる)

■新庁舎建設をきっかけに南九州市がもっと暮らしやすくなるためには、行政がどのようなことに力を入れると良いか、行政サービスがどう変わると良いかを語り合いました。

■政策

- 市のPR戦略の明確化
- 人口を増やすための施策
- 大企業誘致
- もっと市民に庁舎建設のことを知らせる

■行政サービス

- サテライトオフィスの設置
- ・公民館の活用
- ・地区公民館の充実(利便性の促進)
- 支所機能の充実
- ・WEBの活用

■暮らしの環境・生活の向上

- ネットワークの向上(フリーwi-fiなど)
- 治安の情報開示
- ゴミ出しルールの統一
- 集落合併による自治会の協働性
- 集まりやすいお店の増加
- 地域通貨等(ポイント)導入
- 防犯カメラによる防犯対策の充実
- 街灯を明るくしてほしい
- 市民中心のイベントの創出
- 施設・店舗の充実
 - ・商業施設(中型店舗)
 - ・交流できる施設
 - ・室内運動施設(ジムやプール)がほしい
 - ・公園の整備(増設)
 - ・病院の増設

■職員

- 市民とたくさん関わってほしい
- 自治体サポーターの活躍
- 非正規職員をなくす(先導的PR)

■産業・観光

- 市外へのPR活動の活発化
- 魅力の拡大

■交通

- ひまわりバス
 - ・有効活用(スクールバスとの併用)
 - ・新庁舎行の増発
- 通勤道路を作ってほしい
- 新庁舎への移手段の整備
- 交通の利便性の増進
- 道路整備
- ボランティア輸送
- カーシェアリングの設置

■土地

- 人口増を目指した住宅地の充実
- 空き地・空き家対策

■心配ごと

- 税金が上がらないようにしてほしい



■どんな庁舎になったらよいか、どんな新庁舎ができればよいかを語り合いました。

デジタル技術による庁舎機能や行政サービス、生活の向上に資する庁舎

みんなの
庁舎

デジタル化

■庁舎のコンセプト

- ひととモノがつながる庁舎
- 大人から子どもまでみんなが利用できる庁舎
- デジタル庁舎
- 防災庁舎
- 花・木・水等 南九州の自然を感じられる庁舎
- SDGs に即した庁舎
- シンプルでわかりやすい庁舎
- どんな時代、性別の人にも優しい庁舎
- 武家屋敷のまちなさが感じられる庁舎
- 南九州のハブとなる庁舎
- 安心して利用できる庁舎
- 市のシンボルとなる庁舎
- 目立つ庁舎
- 簡素、シンプルな庁舎
- 全国に PR できるような庁舎

■行政機能・設備

- 庁舎に行きやすい
- 駐車場
 - ・止めやすさ
 - ・広い、ゆとりある駐車場
 - ・広くなくてもよい(職員はバスを利用)
- トイレの機能性
 - ・バリアフリー
 - ・ウォッシュレット
- 太陽光パネル設置
- 網戸の設置
- おしゃれな空間
- 待合室
- 庁舎中心部にエントランスを配置
- 図書館を併設
- 最上階に展望・休憩スペース
- スポーツ施設の併設
 - ・ポルダリング、スケートボード、スポーツバイク等
- イベントができるスペース
 - ・ミニコンサート
 - ・フリーマーケット
- 明るい(照明)
- 地区公民館の活用

■庁舎周辺

- 庁舎周辺のライトアップ
- 周囲に散歩道
- 周辺の道路を広く

利用しやすい

情報発信
拠点

■新庁舎の建物

- 平屋建て
- 木造(地場木材使用)
- 外観より内容、便利さを重視
- コンパクト
- バリアフリー
- ユニバーサルデザイン
- 庁舎門は武家門
- 日本建築

■行政サービス

- デジタル化
 - ・窓口電子申請
 - ・デジタル承認による利用で支所不要
 - ・デジタルによる案内板
 - ・支所からオンラインで相談できる
- 窓口の一本化(ワンストップ)
 - ・ひとつの階で用件が済む
- 目的別に番号等でわかりやすく
- 窓口案内ロボット
- 時間延長
- 人権を守る窓口
(顔が見えない、音が聞こえない)

■人材活用

- U-ターン者の有望な人材登用
- IT のスペシャルな人材活用
- IT 時代に対応できる人材と仕事のスリム

■産業・観光の機能

- 観光案内・情報発信
- 特産品の販売
- 空き家等のマッチングが出来る拠点
- 南九州市のすべてが発信できる場所
- 観光に力を入れてほしい

■生活の利便性

- カフェ
 - ・自由に使える
 - ・知覧茶が飲める
- コンビニ
- ポストの設置
- ATM の設置
- フリーwi-fi の設置

■交通

- バスの充実
- 民間バスの終点

便利



■第2回 ワークショップのまとめ



新庁舎建設に向けて



みなみきゅうしゅう
南九州市

南九州市の これからの語り合おう！ ワークショップニュース



新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるとよいか、どんな庁舎ができるかについて市民のみなさんと語り合うために、全3回のワークショップを開催しています。
本ニュースは、10月16日(土)～17日(日)にかけて、颯娃・知覧・川辺の各地域で行われた、第2回のワークショップのようすをお伝えします。

◆第2回ワークショップ開催概要◆

【颯娃】
開催日：10月16日(土)
時 間：14:00～16:00
場 所：颯娃文化会館2階研修室

【知覧】
開催日：10月17日(日)
時 間：10:00～12:00
場 所：知覧文化会館2階大会議室

【川辺】
開催日：10月17日(日)
時 間：14:00～16:00
場 所：川辺文化会館1階研修室

◆当日のプログラム◆
(各会場共通)

1. 開会、あいさつ
2. ワークショップについて
3. グループ分け
4. ワークショップ
まちをよくするために、現庁舎・支所の「空間」「敷地」はどんな使い方をするのがいいか、アイデアを出し合ひましょう
5. グループ発表・まとめ
6. 閉会

どんなひとが参加したの？

参加者の年齢は10代の高校生から70代で、3地区の平均年齢46歳でした。自分とは違う考えの意見が聞けたという声や自分の意見が言いやすかったという声がありました。知らない人同士が、これからの南九州市を思い、新たな気付きの場になりました。

ワークショップ全3回のプログラム

【第1回】新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくりについて語り合おう
開催日：令和3年10月3日(日)14時～16時
会 場：知覧文化会館2階大会議室

市全体のまちづくり

- ①もっと「暮らしやすいまち」になるために、新庁舎建設をきっかけに、行政がどうなるとよいか、どう支えてくれるとよいか、どう関わるとよいか、などを出し合ひます
- ②どんな庁舎ができたならよいかについて話し合ひます

今回はココ！

【第2回】知覧、颯娃、川辺のことを語り合おう

各地域のまちづくり

- ①知覧・颯娃・川辺地域が「どんなまち」かを出し合ひます
- ②まちを良くするための現庁舎・支所の空間・敷地の使い方のアイデアを出し合ひます

【第3回】新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう
開催日：令和3年10月31日(日)14時～16時
会 場：JA 南さつまふれあいセンター 2階大会議室
(JA 南さつま知覧本所隣接)

新庁舎周辺のまちづくり

- ①新庁舎に必要な「モノ」や「コト」を出し合ひ、必要な理由を話し合ひます
- ②出し合った意見をもとに、キャッチフレーズを話し合ひます

■「穎娃」はどんなまち？

自然・景色

- ・星のきれいなまち
- ・空が広いまち
- ・広い青空が見える
- ・海がとてもきれいなまち
- ・海
- ・広い海と広い大地
- ・海と山がある自然にあふれたまち
- ・すばらしい海岸線
- ・景色が特によい
- ・景色がきれいなところが多い
- ・天下一絶景、番所公園がある
- ・自然にあふれたまち

農業

- ・お茶
- ・さつまいも
- ・気候は穏やかで農業に向いている
- ・比較的規模の大きい農家が多い
- ・農業王国
(お茶・さつまいも・山・畑・海)



暮らし

- ・温泉がある
- ・空家再生
- ・パワースポットのあるまち
- ・えい語で話すまち
- ・時間がゆっくり流れるまち

■「穎娃」を良くするための穎娃庁舎の空間・敷地の使い方についてアイデアを出し合いました

■観光産業

- 子ども（学生）のため
 - ★合宿所
(星が見える、体育館・武道館・プール併設)
- 観光客のための
 - ★宿(安価・素泊まり)
 - 観光拠点
 - キャンプ場
 - ★特産品を活かした料理教室・販売所
- 穎娃の観光振興のため
 - イベントスペース
 - ★広い駐車場
(イベント性を備える・スケボー練習場)
 - 景観拠点(文化会館付近の松林)
 - 人が集まるしかけ
 - お化け屋敷(おもしろいPR方法)
 - ★空(天体)観測所
 - 昔の映画や音楽を流す場所
- 地域事業者(農家)のため
 - 特産品研究所
 - ★道の駅・農産物販売
 - スーパーマーケット

■暮らし

- 子ども(幼児～児童)のため
 - ★雨の日に遊べる場所
 - 子どもの預かり所(一時保育)
 - 子どもの集まる場
 - 親子連れが楽しめるスペース
- 地域の学生のため
 - Wi-fi や空調が完備されたフリースペース
- 地域住民のため
 - ★スポーツクラブ
 - ★病院・診療所
 - 地域コミュニティFM局のスタジオ
 - 店舗(コンビニ・大型店舗)
 - ★大人が集える場(飲める場)
 - コンビニ
 - ★誰でも利用できるスペース
 - ・wi-fiの整備
 - ★誰でも利用できる食堂・弁当販売
 - ★DXに特化した市民サービス
 - ・電子ポイント、電子マネーの普及
- 交流するため
 - カフェ・飲食スペース
 - ★多目的スペース



稼ぐ

■働く場

- 市内の人のため(雇用推進)
 - ★診療所の併設
 - 福祉団体等が使える部屋
 - 起業希望者の方のためのレンタルショップ
- 市外の人のため(企業誘致等)
 - ★シェアオフィス
 - 空家再生のノウハウを活用したシェアオフィス

利便性

■行政機能

- 地域住民のため
 - ★穎娃支所に会計窓口
 - 道路作業所
 - ★窓口を1階フロアに集約する
 - 広い待合スペース
 - 社協、商工会、各種団体を集約する

安心
安全

■防災

- 地域住民のため
 - ★災害時の宿泊所

★印は、複数の方がよいと思ったアイデアです。

■「知覧」はどんなまち？

歴史・文化

- ・歴史と文化のまち
- ・歴史・文化・自然のあふれるまち
- ・自然豊か



暮らし

- ・鹿児島に近い
- ・ド田舎!
- ・これからのまち

産業

- ・観光のまち
- ・観光地
- ・お茶
- ・畜産(牛・豚・卵)のまち



■「知覧」を良くするための知覧庁舎の空間・敷地の使い方についてアイデアを出し合いました



■観光産業

- 交通のため(観光地として)
 - ★駐車場にする
 - ★南薩の中間点
 - 知覧峠を整備してほしい
 - 交通ハブ拠点(バス・鉄道)
- 地域外の人のため(観光地として)
 - ★観光を取りまとめる場
 - ★観光客が立ち寄る施設
 - ★広場(駐車場・キッチンカー・芝生)
 - 案内できる人・場所
 - 芝生があったらいい
 - 武家屋敷の入り口の公園化の利用
- 通り(商店街)の活性化のため
 - ★お土産店がほしい
 - 銀座通りに観光の店を作る
 - 飲食店カフェ
 - ★歩行者天国
 - 家族で行ける場
 - 人力車
- 宿泊・体験のため
 - ★合宿所
 - 青少年交流センター
 - 若い世代がいろんな体験が出来る
 - 体験観光の拠点
 - ★ねぶた会館
 - ★歴史博物館(ミュージアムの移設含む)

■働く場

- 雇用のため(仕事の間)
 - ★県合同庁舎を誘致
 - テナント・貸会議室・自習室

■人が集まる場

- 産業の活性化のため
 - ★物産館
 - アンテナショップ、道の駅

■暮らし

- 単身者のため
 - お弁当を買える場所
- 防災のため
 - ヘリポート
- 物産のため
 - ★地域の物産館
 - 地域の人が出店できる場
 - デパート
- 学校帰りの学生のため
 - ★wi-fiがある勉強できる場
- 人が集まるため
 - ★ファストフードチェーン店
 - 近隣住民の交流施設

★印は、複数の方がよいと思ったアイデアです。

■ 「川辺」 はどんなまち？



伝統と文化

- ・祭りやイベントが多く、それが文化になるまち
- ・伝統産業の仏壇
- ・川辺二日市のまち
- ・食のまち



- ・鹿児島に近い
- ・水のきれいなまち
- ・自然が豊か
- ・山・川・田
- ・緑がたくさんある

自然と環境



人

- ・人と人が交流するまち
- ・人があたたかいまち
- ・人が楽しく触れ合える

■ 「川辺」 を良くするための川辺庁舎の空間・敷地の使い方についてアイデアを出し合いました

■暮らし（日常）

□地域住民のため

- ★若い人が仕事を探す場所（ハローワーク）
- 住民が自由に借りることができる部屋
- 相談室（行政とのつながり）
- ショップ、衣類
- 食堂
- ★長居できるカフェ
- ★カフェ、ファストフードチェーン店
- ★ファミリーレストラン
- 憩いのスペース（飲食可）
- ★映画館
- まちじゅうに公園が欲しい

□子どものため

- まちの中に歩いて行ける集まれる場
- 子どもが日常的に利用できる場
- 勉強したり、くつろいだりできる空間
- ★学校以外で勉強できる場
- 子どもたちが遊べるスポット

□学生のため

- 友達と気軽に楽しめる場
- 学校の帰りに集まれる場
- 夜遅くまで空いている自習室

□子育てするため

- 子どもを預けられる待機所
- 子育て世帯が集まる場

□交流するため

- 若い人のコミュニケーションの場
- 遊ぶ場
（ボーリング、ショッピングセンター、カラオケ）
- 年配の方と子どもたちが交流できる場
- ちょっとつまみ食いができる果樹園

□運動するため

- ★室内ジム、体育館
- ★公園
- ★レアな競技施設
（3on3、スケートパーク、スラックライン）

□文化・音楽のため

- ★音楽で町を盛り上げる（川辺フィルなど）
- ★防音室
- 文化面をもっと活発にする

■暮らし（非日常）

□イベント時のため

- ★広場
- 公園
- かまど
- 駐車場（ひまわりバス、原付バイク）
- バス停

□災害時のため

- かまど（イベント時にも使用）

■観光

□地域住民のため

- ★イベント、展示場
- 川辺にあるお店の紹介

□観光客のため

- 川辺の歴史がわかる展示室

■その他

□ふるさと納税の活用

- ★特産物をもっと売る
- 子育てへの支援に活用
- 一般市民が新商品開発をする
- 高校生の演奏を返礼品にする



★印は、複数の方がよいと思ったアイデアです。

■第3回 ワークショップのまとめ



新庁舎建設に向けて



南九州市の これからを語り合おう！ ワークショップニュース



新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるとよいか、どんな庁舎ができるかについて市民のみなさんと語り合うために、全3回のワークショップを開催しました。
本ニュースは、10月31日(日)の第3回のワークショップのようすをお伝えします。

◆第3回ワークショップ開催概要◆

開催日：10月31日(日)
時間：14:00～16:00
場所：JA 南さつまふれあいセンター
2階大会議室

◆当日のプログラム◆

★ワークショップが始まる前に
新庁舎建設予定敷地周辺を
歩きながら、場所・エリアの説明

1. 開会、あいさつ
2. ワークショップについて
3. グループ分け
4. ワークショップ
市民(利用者)の目線で新庁舎に
必要なモノやコトを出し合しましょう
5. グループ発表・まとめ
6. 閉会



ワークショップ全3回のプログラム

【第1回】新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくりについて語り合おう

開催日：令和3年10月3日(日) 14時～16時
会場：知覧文化会館 2階大会議室

市全体のまちづくり

- ①もっと「暮らしやすいまち」になるために、新庁舎建設をきっかけに、行政がどうなるとよいか、どう支えてくれるとよいか、どう関わるとよいか、などを出し合います
- ②どんな庁舎ができたならよいかについて話し合います

【第2回】穎娃、知覧、川辺のことを語り合おう

[穎娃] 開催日：令和3年10月16日(土) 14時～16時
会場：穎娃文化会館 2階大会議室
[知覧] 開催日：令和3年10月17日(日) 10時～12時
会場：知覧文化会館 2階
[川辺] 開催日：令和3年10月17日(日) 14時～16時

各地域のまちづくり

- ①知覧・穎娃・川辺地域が「どんなまち」かを出し合います
- ②まちを良くするための現庁舎・支所の空間・敷地の使い方のアイデアを出し合います

今回はココ！

【第3回】新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう

新庁舎周辺のまちづくり

- ①新庁舎に必要な「モノ」や「コト」を出し合い、必要な理由を話し合います
- ②出し合った意見をもとに、キャッチフレーズを話し合います



■新庁舎に必要な「モノ（機能、設備等）」や「コト（サービス、使い方等）」についてアイデアを出し合いました。出し合ったアイデアをもとに、各グループで新庁舎のキャッチフレーズを考えました。

ひとが集まる場

- 屋上**■
- ・サンセットバー
 - ・映画スロット
 - ・周囲を見渡せるような展望台
 - ・特攻の史実を紹介する説明板の設置

- ・夕陽がきれい
- ・名所づくり
- ・歴史のPR

- 交通拠点**■
- ・バスターミナル
 - ・交通の拠点
 - ・ひまわりバスの拠点
 - ・公共交通のバス停新設
 - ・空港のようなエントランス

- ・交通の利便性、アクセスがよい

- 目的別スペース**■
- ・映画館
 - ・防音室
 - ・インターネット配信
 - ・PRスペース
 - ・複合施設
 - ・足湯

- ・場所にゆとりがほしい
- ・働く場所ができる
- ・市民の活動をPR
- ・庁舎を入りやすい場所に

- ・誰でも使える
- ・待合室代わり

- 飲食**■
- ・みんなが使える食堂
 - ・カフェ

- ・人材確保
- ・何かしたい
- ・音楽活動がしたい

- 多目的**■
- ・チャレンジスペース
 - ・いい意味で無駄な部屋
 - ・ちょっとした演奏会が開けるスペース

- フリースペース**■
- ・雑談室
 - ・誰でも使えるスペース

- ・多世代で交流したい

- ・お金をかけない
- ・みんなが見に来たくなる
- ・市役所で働きたくなる
- ・市民から頼まれる

- 庁舎の姿**■
- ・災害に強く安心安全の拠点となる庁舎
 - ・観光地になるような庁舎
 - ・ドラマで使われるような庁舎
 - ・木や公園に囲まれた庁舎

- 広場・公園**■
- ・屋上に広場をつくる
 - ・幅広い年代の方が利用できる広場
 - ・ミニ公園
 - ・市民の憩いの場
 - ・イベント広場
 - ・何にでも使える広場

- ・子ども、親子で行ける
- ・市民の憩いの場
- ・イベント時、災害時にも使える

- ・いろいろな人が集まる

- 駐車場**■
- ・朝市を開催する（土・日）

みんなに優しい

- 照明**■
- ・隅々まで明るい照明
 - ・自然光、間接光を取り入れる
 - ・天井が高い方がよい

- ・圧迫感がなく開放的

- 受付**■
- ・受付のロボットを設置
 - ・待たないで済む（でもITは嫌）
 - ・バリエーションに対応したガイド
 - ・専門の案内人
 - ・災害の際に住民が避難できるスペース
 - ・給茶器より美味しい、特産のお茶が飲める

- ・みんなに優しい

- トイレ**■
- ・とにかくキレイなトイレ
 - ・なにか面白いトイレ

- ・誰でも使える
- ・話題作り

- 設備**■
- ・エレベーター
 - ・点字ブロックの設置
 - ・バリアフリーに特化

- ・ユニバーサルデザイン

- 執務空間**■
- ・フリーアクトレス化
 - ・職員のとどりと笑顔

- ・将来の悪化に対応
- ・あいさつが行き交う仕事場

- ・個人や自治会活動の推進
- ・住民の生きがい

- 庁舎周辺**■
- ・市の木や花を植栽
 - ・花壇の管理や清掃をボランティアで実施
 - ・歩道に「清流溝」
 - ・歩道に「休憩スペース」の設置

みんなの南九州市 「チャチャチャ」タウン

キャッチフレーズ①

キャッチフレーズ②

稼ぐ場

- ・移住のきっかけづくり
- ・人口増加につながるしかけ
- ・働く場所になるできない体験ができる
- ・ここですべてできる
- ・市の財政の補填にあてる

- 屋外**■
- ・シェアハウス
 - ・セカンドハウス
 - ・「チャチャチャ」タウンを作り複合施設の誘致

- ・文化的な建物にして宿泊施設を併設
- ・テントが張れる

- ・市民農園
(既存の施設・機械を活用、市の技術者が指導)
- ・土地を貸して稼ぐ
- ・堆肥を作る

■ワークショップが始まる前に、新庁舎建設予定敷地周辺をみんなで歩きました。



■新庁舎建設予定敷地周辺を歩いてみて感じた、この場所・エリアの印象を発表しました。

拠点

- ・様々な文化が融合する場所
- ・変わりゆく時が流れている場所

街並み

- ・平らな部分が多い
- ・緑園
- ・広くてゆったりとした感じ
- ・展望が出来る場所
- ・歩道がキレイ

自然

- ・自然とまちを感じられる場所
- ・自然がいっぱいで景色がよい
- ・景色がきれいで静かである
- ・開聞岳を背景に支援と緑(周囲の山々)と青空、そして太陽のコントラストが素晴らしい



【コラム】新庁舎建設予定敷地周辺の移り変わり

1948(昭和23)年



知覧飛行場の名残として、かつての敷地の形状の面影が残ります。まだ田畑は完全には復興していません。周辺には民家が見られます。

1992(平成4)年



颯娃川辺線の道路が整備され、道路に沿ってまちが拡大しています。公共施設等が建てられ、その周辺に住宅等ができています。

2020(令和2)年



現在は、工場やガソリンスタンド、大型店舗などが出現しています。南薩縦貫道が新しく整備され、新町地区の住宅新築が増えています。

